

新年度を迎えて —授業参観、児童生徒会—

4月末、学校保護者会および授業参観、学年学級懇談会がありました。本校は今年度、創立25周年を迎え、児童生徒は5月1日現在448名の過去最高人数となっています。

学校保護者会では、今年度着任された喜屋武浩司校長先生が学校経営の基軸について、学校教育目標や目指す児童生徒像について触れながら、説明を行いました。

授業参観では、各クラス担任の授業の様子を見ていただき、児童生徒たちもいつもと違う雰囲気に緊張の色を隠せませんでした。一生懸命に授業に取り組んでいました。

5月に入り、新年度の児童生徒会の任命式がありました。生徒会では、前任の副会長の転出にともなって補欠選挙を行い、中三から副会長を一人選出しました。児童会では、6年生から会長と副会長を、5年生から副会長と書記を選出し、任命式では、校長先生から任命状が手渡され、全校生徒へ紹介がありました。10月から活動している生徒会役員の3名と共に、今年度の児童生徒会として活動していきます。彼らは、よりよい日本人学校を目指して、あいさつ運動や行事の企画運営を行います。また、学級代表委員会、国際交流委員会、保健衛生委員会、放送委員会、図書委員会、体育委員会の各委員会でも、中三の新委員長のもと活動を始め、その内容や目標について発表しました。生徒自らの手で、日常生活や約束ごとについて検討し、改善していくのが主な仕事です。

今後も、保護者をはじめ、学校に関わる皆さま方にご支援・ご協力をいただきながら、様々な行事を行っていきます。子どもたちが充実した学校生活を送れるよう、教職員一同、教育活動に努めてまいります。

